

大牟田版SDGs

Sustainable Development Goals

【Omuta Ver. 2】



世界文化遺産「三池港」



大牟田市教育委員会 発行

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を元気にするための17の目標



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標『SDGs』について

開発アジェンダの節目の年である2015年の9月、ニューヨーク国連本部において「国連持続可能な開発サミット」が開催され、150を超える加盟国首脳の参加のもと、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。

このアジェンダは、人間、地球及び繁栄のための行動計画として、宣言および目標を掲げました。この目標が、ミレニアム開発目標（MDGs）の後継であり、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」です。

今日、世界各地で進展がみられますが、2030年までにSDGsを達成するには、取り組みのスピードを速め、規模を拡大しなければなりません。2020年1月、SDGs達成のための「行動の10年（Decade of Action）」がスタートしました。

国連に加盟するすべての国は、全会一致で採択したアジェンダをもとに、2015年から2030年までに、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会など、持続可能な開発のための諸目標を達成すべく力を尽くします。

※ 国際連合広報センターホームページより

はじめに

20世紀の初めに、團琢磨氏が100年後の大牟田の姿を見据えて三池港を築港したとき、彼は「持続可能なまちづくり」を意図して、この大工事を成し遂げました。まさに「国家100年の大計」としての篤志が、三池炭鉱が閉山した今なお繁栄している大牟田市の姿につながっています。大牟田市は、2017年に市制施行100周年を迎え、新たな100年に向けて歩み始めたところです。

さて、21世紀が始まり20年が経過した今、国境を越えた地球的な規模で、人、資本、情報が移動するグローバル経済の下、気候変動や自然災害、飢餓、感染症などの地球規模の課題が、環境や経済、社会の問題へと波及して、深刻な影響を及ぼす時代になってきています。特に、近年のコロナウィルスの全世界での感染拡大は、我々人類の生存に大きな脅威をもたらすとともに、新たな意識や生活様式への転換を迫りました。このような危機的な状況を乗り越えるためには、国境を越えて人類全体が協働する様々な対策が不可欠となっています。

2015年9月に国際連合で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」は、人間、地球及び繁栄のための行動計画であり、普遍的な平和の強化を追求するもので、持続可能な社会の構築へ向けての必要不可欠な羅針盤です。その中で「誰一人として取り残さない」という理念のもと、経済、社会、環境の三つの側面を調和させる統合的な目標として、17のゴール（目標）と169のターゲットから成る「持続可能な開発目標（SDGs）」が掲げられました。

本市においては、市内のすべての公立小・中・特別支援学校が2012年1月にユネスコスクールに一堂に加盟し、持続可能な開発のための教育（ESD）を推進してきました。これまでに、世界遺産や福祉、まちづくりなど大牟田市の特徴を踏まえた実践が、各学校で、地域や各関係団体と連携・協働し、展開されています。これらの学びは、子どもたちに、様々な時空間を超えたつながりやかかわり、そして様々な課題解決に向けた行動化をもたらしています。また、市役所においては、市長を本部長とする「大牟田市ESD推進本部」を設け、全庁的にESDに取り組んできました。

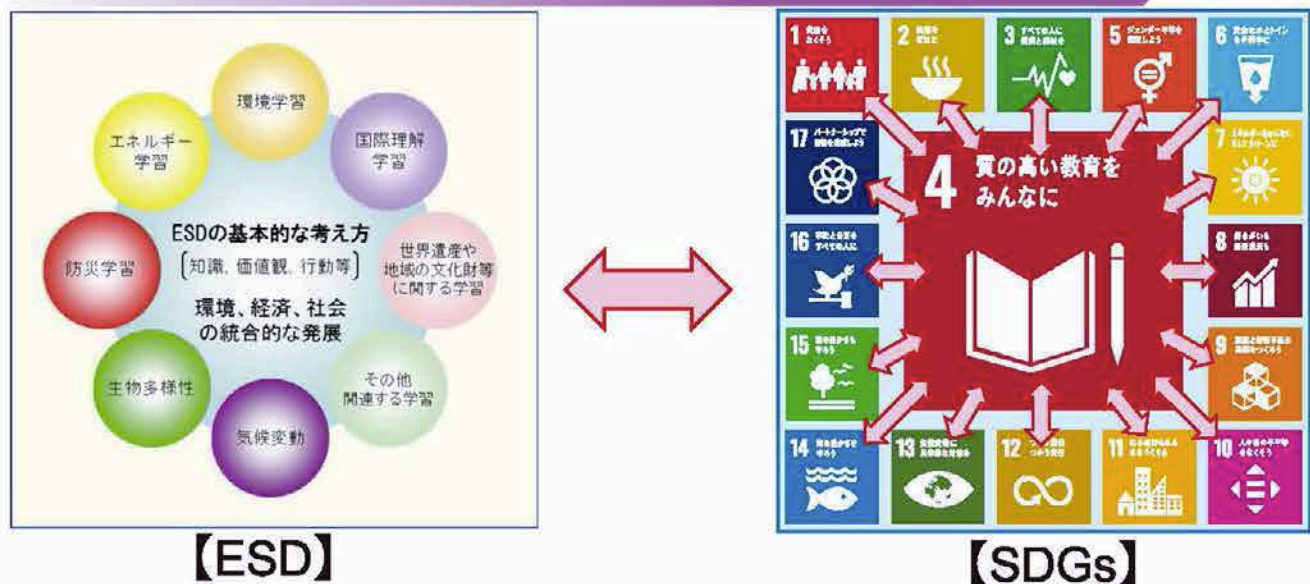
そして、本市におけるこれまでのESDの取組が評価され、2019年7月には、「SDGs未来都市」に認定されました。さらに、12月には、大牟田市教育委員会が「ジャパンSDGsアワード」特別賞を受賞するとともに、2020年2月に国連大学が認めるESDの国際的な地域拠点として「RCE大牟田」の認定を受けました。

そこで、このたびSDGs/ESDの取組のさらなる充実を目指し、2017年12月に作成しました「大牟田版SDGs」を改訂することとしました。この「大牟田版SDGs」は、「2030アジェンダ」をふまえ、世界が抱えている普遍的な課題や本市独自の課題に対して、これまでに本市の各学校で取り組んできたESDの実践をもとに、P10以降の各目標に「持続可能な社会の創り手」としての「子ども像」を示すものです。そしてこの目標はあくまでも、持続可能な社会の形成者としての地球市民を育成するための通過点であり、発達段階をふまえた段階的な指標として示すものです。



「大牟田版SDGs Ver.1、Ver.2」は及川幸彦先生（東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター主幹研究員）の監修のもと作成しています。

ESDとSDGs：ESDの推進によるSDGsの達成



教育はSDGsの目標4に位置付けられており、ESDは目標4の中のターゲット4.7に記載されています。しかし、教育については、「**教育が全てのSDGsの基礎**」であり、「**全てのSDGsが教育に期待**」しているとも言われています。特に、**ESDは、持続可能な社会の担い手づくりを通じて、17全ての目標の達成に貢献するものです。**ですから、ESDをより一層推進することが、SDGsの達成に直接・間接につながっています。また、SDGsを、ESDで目指す目標が国際的に整理されたものとして捉えることもできます。

「持続可能な開発のための教育（ESD）の更なる推進に向けて」より
(2017年 文部科学省、日本ユネスコ国内委員会教育小委員会メッセージ)

SDGsをめざしたESDを推進することで期待される効果

ESDの活動を進めていく中で、自分たちの様々な活動が、国際的に整理された目標であるSDGsの各目標にどのように貢献しているのかを考えることによって次のような効果が期待できます。

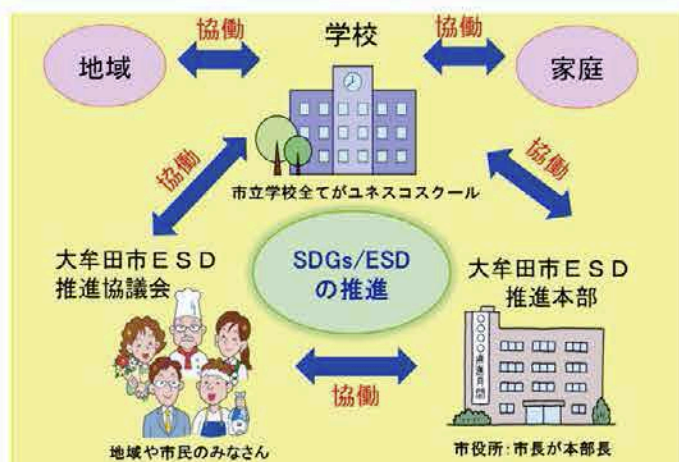
- ① SDGsによって自分自身のESDの活動に新たな意義や価値付けを行うことができ、ESDの活動の目標を明確にすることができる。
- ② SDGsは人類共通のグローバル目標なので、それを意識してESDの活動に取り組むことは、地域に根差した身近な活動が世界につながることであり、地球規模の課題解決に貢献することができる。

(及川幸彦氏資料より)

**SDGsを見据えつつ、学校や地域で
足元の課題解決を大切にESDを進めていきましょう！！**

Think Globally, Act Locally

大牟田市のSDGs達成に向けたESDの取組



大牟田市の全ての公立小・中・特別支援学校は、2012年1月にユネスコスクールの認定を受け、学校や地域の実態に合わせて、持続可能な開発のための教育（ESD）をすすめています。

大牟田市では、学校と家庭と地域などが連携・協力し、市をあげてESDを進めています。

E→いつまでも S→すばらしいまち D→できることから

大牟田市の取組



ユネスコスクールの日の制定
(2017年)



SDGs/ESD全国実践交流会
(2014年～)



子ども大牟田検定ガイドブック
(2011年作成・2020年改訂)



SDGs/ESD子どもサミット(2012年～)



ネイチャースクール(2014年～)



ESDちいき講座(2017年～)

各学校でのESDの取組



子どもボランティアガイド
(駄馬小学校)



吉野小さくらプロジェクト
(吉野小学校)



子ども民生委員活動
(中友小学校)



海洋教育
(みなと小・天領小 駄馬小・天の原小)

それぞれの地域の課題解決に向けたESDの充実

- ◆ 各学校や地域の特色を生かし、身近な課題について学習することを通して、自分の問題として捉え、自分にできる身近なことを考え、行動できる子どもを育てています。

「ユネスコスクールESDのまち おおむた」の SDGsの広がり

「SDGsおおむたマップ」 (2019年)



各学校が地域
と共に取り組ん
でいるSDGsの
重点目標と取組
の様子

「SDGsステッカー」作成配布 (2019年)

「SDGsステッカー」を作成し、市内の全児童生徒にSDGsの解説チラシと一緒に配布。



「SDGs未来都市」に認定 (2019年)

2019年7月、大牟田市は「SDGs未来都市」に認定されました。

「SDGs/ESDのまち おおむた」として、国内外に向けた情報発信を進めるとともに、国内はもとより、全世界におけるSDGs実現に向けた取組に貢献することを目指しています。



第3回「ジャパンSDGsアワード」特別賞受賞 ～教育委員会の受賞は全国初～(2019年)



2019年12月20日、大牟田市教育委員会が第3回「ジャパンSDGsアワード」の特別賞「SDGsパートナーシップ賞」を教育委員会として全国で初めて受賞しました。

この表彰は、持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けた企業・団体等の取組を促し、オールジャパンの取組を推進するために、SDGsの達成に資する優れた取組を行っている企業・団体等を政府のSDGs推進本部が選定するものです。

今回の受賞は、大牟田市教育委員会と市立学校のESDの取組がSDGsの達成に資するものとして特筆すべき功績があったと認められたものです。



「RCE 大牟田」認定 ～ESDの世界地域拠点に～ (2020年)



大牟田市は、2020年2月27日国連大学から「持続可能な開発のための教育（ESD）」の地域拠点（RCE）として認定されました。国内で8番目に認定された拠点です。

今後、さらに世界とのつながりを広げ、そして深め、ESDを推進していきます。

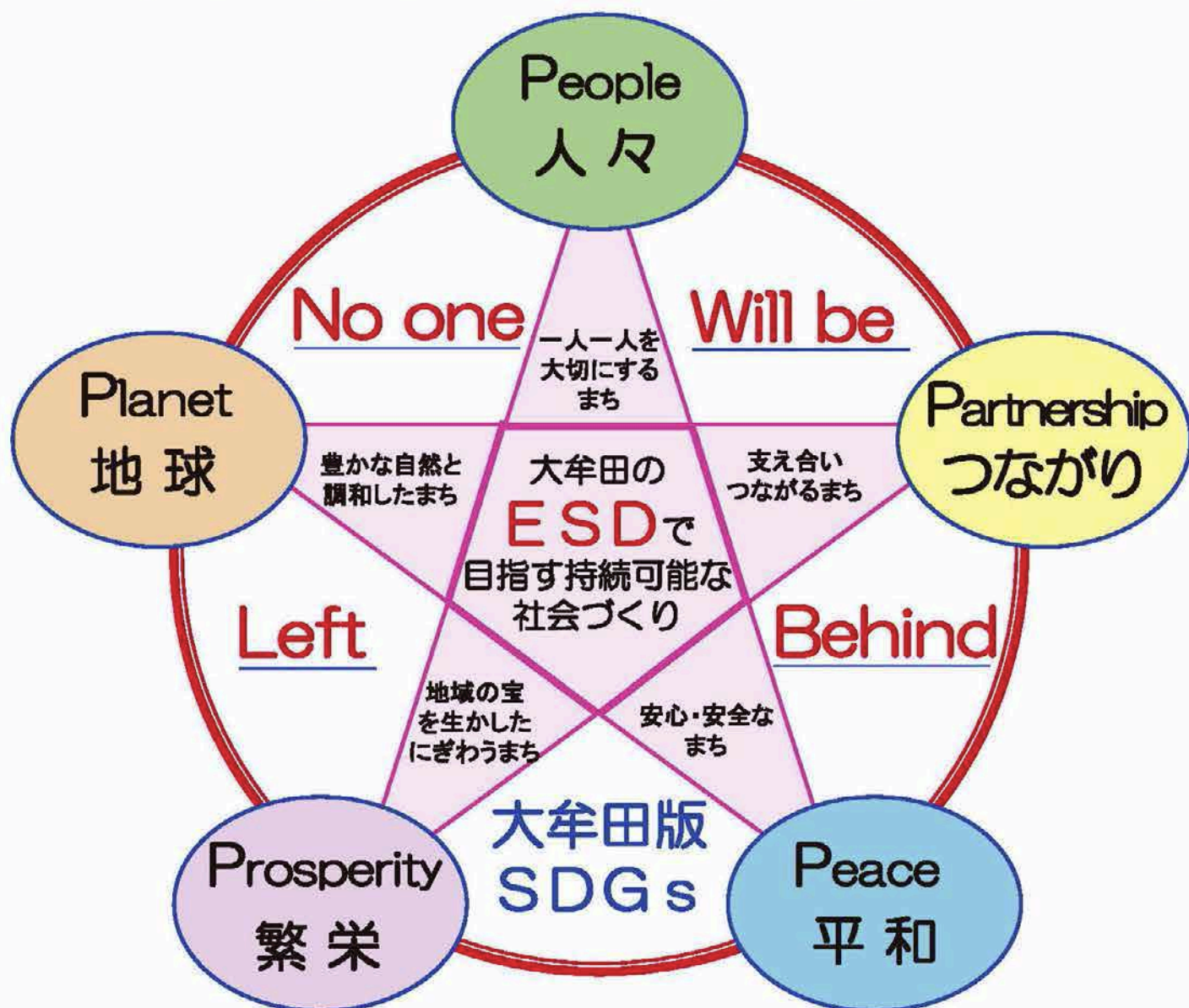
外務省 SDGs『行動の10年』に掲載 (YouTube配信) (2020年)

大牟田市のESDをととしたSDGsの取組が、外務省のYouTubeで紹介されています。



大牟田の5つのP

【People, Prosperity, Planet, Peace, Partnership】



誰一人取り残さない社会を目指して

持続可能な大牟田のまちづくりビジョン

大牟田版SDGs 5つのP

大牟田市は、三池炭鉱と石炭関連産業の繁栄と共に急速な発展を遂げてきました。その後、炭鉱閉山により人口減少、少子高齢化が進み、持続可能なまちづくりが喫緊の重要課題となっています。

そこで、これまで培ってきた歴史と文化を大切に「5つのP」をキーワードに大牟田版SDGsの達成を通して、持続可能なまちづくりをすすめます。

大牟田市におけるSDGsの重点『大牟田版SDGs』

持続可能な大牟田のまちづくり

【大牟田版SDGs】

《重点目標》



《基盤目標》

大牟田市ユネスコスクールの日制定宣言



2012年1月17日に大牟田市立の全小・中・特別支援学校がユネスコスクールに加盟しました。それを記念して1月17日をユネスコスクールの日と制定しました。

- 私たちは、人と人とのつながりを大切にします。
- 私たちは、学校から地域へ、地域から世界へ、つながりの輪を広げていきます。
- 私たちは、過去から現在までのつながり、現在から未来へのつながりを大切にします。
- 私たちは、希望ある未来を創るため、学び続けるとともに、自分にできることから行動します。

大牟田市学校教育振興プラン

基本理念

大牟田市では、「まちづくりはひとづくりから」という基本的な考え方に立ち、持続可能な社会づくりを担う子どもたちの育成を目指します。



持続可能な開発のための教育（ESD）を進め、大きな夢を抱き未来を創る「おおむたっ子」を育成します。

「基本施策」

- I 未来を創る児童生徒を育成する
特色ある教育活動の展開
- II 子どもの個性や能力を伸ばし、可能性を広げる
- III 学校教育環境の充実
- IV 安心して学べ、地域とともにある学校づくり
- V 人権に関する教育・啓発の推進

大牟田市の特色

【大牟田の宝】○エネルギー・環境（公害の克服）
○世界文化遺産（明治日本の産業革命遺産）
○豊かな自然（山や川、有明海）

【課題】●少子高齢化
●人口減少
●石炭産業の衰退

大牟田版SDGsでは、本市の課題をふまえるとともに、大牟田の宝を生かして各学校ですすめているESDの実践（SDG 4）をもとに、地域や他地域、海外とのつながりを基盤にしながら（SDG 17）、8つの重点目標の達成をめざして大牟田の持続可能なまちづくりに取り組んでいきます。

大牟田版SDGsの基盤目標

4 質の高い教育をみんなに



4 質の高い教育をみんなに

すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

SDG4のターゲットから

4.7 持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。

1 ホールシティーアプローチ

- 全小・中・特別支援学校がユネスコスクールに加盟
- 「ユネスコスクールのまち おおむた」を発信
- ユネスコスクールの日を制定（1月17日）

2 世界遺産学習の推進

- 世界文化遺産登録の三池炭鉱関連資産の活用

3 海洋教育の推進

- 有明海の干潟（日本一の干満の差）
- 世界文化遺産登録の「三池港」
- 森・川・海をつなぐ海洋教育



17 パートナリシップで目標を達成しよう



17 パートナリシップで目標を達成しよう

持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

SDG17のターゲットから

17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

1 多様な主体の参画と連携

- RCE大牟田（教育委員会、大牟田市ESD推進協議会、大学、社会教育施設、参画企業・団体、ユネスコスクール間の連携）
- 大牟田市ESD推進本部（行政間の連携）
- 大牟田市ユネスコスクール担当者会（学校間の連携）

2 他地域・大学との連携

- ユネスコスクール・SDGs/ESD研修会・支援教育委員会サミットの開催
- ユネスコスクール・SDGs/ESD子どもサミットの開催
- 東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センターとの連携

3 国際的連携

- 世界のユネスコスクールとの交流
- 世界のRCEとの連携
- 中国山西省大同市との友好都市による連携

大牟田版SDGsの各重点目標の見方

< 例 >

3 すべての人に健康と福祉を



3 すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

SDG3のターゲットから

- 3.4：非感染疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健および福祉を促進する。
- 3.d：すべての国々、特に開発途上国の国家・世界規模な健康危険因子の早期警告、危険因子緩和及び危険因子管理のための能力を強化する。

大牟田市では【★まちづくり総合プラン ★学校教育振興プラン】

★第3編『やさしさ』・支えあい、健やかに暮らせています

- ・地域の中でお互いに見守り支え合う、やさしさのあふれるまち
- ・生涯にわたって健康で元気に暮らせるまち
- ・高齢になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまち
- ・障害があっても、みんなと一緒に自分らしく暮らせるまち

★基本施策Ⅰ『未来を創る児童生徒を育成する特色ある教育の展開』・ESDの推進

- ・心身の健全な発達に資する健康教育と福祉教育の推進

大牟田市の学校では



子ども民生委員
(中友小学校)



ジュニア民生委員
(白川小学校)



高齢者施設訪問
(宅峰中学校)



ほっと・あんしん
ネットワーク模範訓練
(全市的な取り組み)

連携機関：校区まちづくり協議会、福祉課、民生委員、高齢者施設等

こんなことができる子どもを育てたい！

◆地域社会の一員としての自覚を持ち、社会福祉を大切にするための取組について、自分ができることを考え行動している子ども

- ・高齢者、障害者等に関する社会福祉の理念と意義についての知識・理解
- ・持続可能な社会の構築と、社会福祉の在り方について関係づける思考力・判断力・表現力
- ・社会福祉に関する諸課題を主体的に解決していく実践力・行動力

大牟田市で重点的に取り上げるSDGsのゴールを示しています。

SDGsのゴールに示されている169のターゲットの中から、大牟田市において特に目指していくターゲットを示しています。

目指すターゲットを踏まえ

まず、大牟田市として目指していくターゲットと特に関連する施策や事業を示しています。

赤色は「まちづくり総合プラン」の中から関連する基本目標と施策名を示しています。

青色は「大牟田市学校教育振興プラン」の中から関連する基本施策と事業名等を示しています。

次に、ターゲットと関連する各学校の特色ある取組を取り上げています。

そして、大牟田市で目指す児童生徒の姿と、その資質・能力を示しています。

各学校における実践にあたっては、実態に応じて目指す子どもの姿の具体化を図り、子どもたちの活動成果や課題を見取り、繰り返し価値付けを図りましょう。



3 すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

SDG 3のターゲットから

- 3.4：非感染疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健および福祉を促進する。
3.d：すべての国々、特に開発途上国の国家・世界規模な健康危険因子の早期警告、危険因子緩和及び危険因子管理のための能力を強化する。

大牟田市では【★まちづくり総合プラン ★学校教育振興プラン】

★第3編『やさしさ』・・支えあい、健やかに暮らせています

- ・地域の中でお互いに見守り支え合う、やさしさのあふれるまち
- ・生涯にわたって健康で元気に暮らせるまち
- ・高齢になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまち
- ・障害があっても、みんなと一緒に自分らしく暮らせるまち

★基本施策Ⅰ『未来を創る児童生徒を育成する特色ある教育の展開』・・ESDの推進

- ・心身の健全な発達に資する健康教育と福祉教育の推進

大牟田市の学校では



子ども民生委員
(中友小学校)



ジュニア民生委員
(白川小学校)



高齢者施設訪問
(宅峰中学校)



ほっと・あんしん
ネットワーク模擬訓練
(全市的な取り組み)

連携機関：校区まちづくり協議会、福祉課、民生委員、高齢者施設等

こんなことができる子どもを育てたい！

◆地域社会の一員としての自覚を持ち、社会福祉を大切にするための 取組について、自分ができることを考え行動している子ども

- ・高齢者、障害者等に関する社会福祉の理念と意義についての知識・理解
- ・持続可能な社会の構築と、社会福祉の在り方について関係づける思考力・判断力・表現力
- ・社会福祉に関する諸課題を主体的に解決していく実践力・行動力



7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

SDG7のターゲットから

- 7.2：世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
- 7.3：世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。

大牟田市では【★まちづくり総合プラン ★学校教育振興プラン】

★第4編『くらし』・都市と自然が調和した快適なまちになっています

- ・地球や自然を大切にすまち
- ・資源が循環する環境にやさしいまち

★基本施策Ⅰ『未来を創る児童生徒を育成する特色ある教育の展開』・ESDの推進

- ・エネルギー問題の解決に取り組む教育活動の推進

大牟田市の学校では



めざせエネルギー博士
(明治小学校)



ペットボトルキャップ
回収作戦(白川小学校)



九州電力出前授業
(松原中学校)



クリーンアップ作戦
(各学校)

連携機関：九州電力株式会社、環境総務課、教育力向上推進協議会等

こんなことができる子どもを育てたい！

◆資源やエネルギーの問題と自己の生活を関連づけ、環境にやさしいまちづくりについて、自分ができることを考え行動している子ども

- ・エネルギー資源の利用やエネルギー消費に係る日常生活の影響についての知識・理解
- ・持続可能な社会の構築と、エネルギー確保や環境負荷について関係づける思考力・判断力・表現力
- ・環境の保全に配慮し、クリーンエネルギーの視点からよりよい日常生活に主体的に取り組む実践力・行動力



11 住み続けられるまちづくりを

包摂的で、安全かつ強靱（レジリエント）で
持続可能な都市及び人間居住を実現する

SDG11のターゲットから

11.4：世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。

11.b：災害に対する強靱さを目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、仙台防災枠組2010-2030に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。

大牟田市では【★まちづくり総合プラン ★学校教育振興プラン】

★第1編『はぐくみ』・・・未来を拓く人がはぐくまれています

・文化芸術に親しみ、心豊かに生活できるまち

★第5編『あんしん』・・・安心して安全に暮らせています

・災害に強いまち

★基本施策Ⅰ『未来を創る児童生徒を育成する特色ある教育の展開』・・・ESDの推進

・地域の宝を学び、地域の宝を守り愛する郷土学習の推進

・地域の特色を活かした防災教育の推進

大牟田市の学校では



駿馬の魅力発信
子どもボランティアガイド
（駿馬小学校）



ハッピータウンプロジェクト
（吉野小学校）



フラワータウンプロジェクト
（大正小学校）



防災・減災学習
（橘中学校）

連携機関：校区まちづくり協議会、世界遺産・文化財室、防災対策室等

こんなことができる子どもを育てたい！

◆自然災害への適応や世界文化遺産の保全について、適切な行動選択や
日常的な備えについて、自分ができることを考え行動している子ども

- ・産業革命遺産等の地域の宝の保全と、自然災害等の原因及び減災等についての知識・理解
- ・持続可能な社会の構築と、地域の宝の保全並びに自然災害等への対応について関係づける思考力・判断力・表現力
- ・防災・減災や世界文化遺産を生かしたまちづくりに主体的に取り組む実践力・行動力



12 つくる責任つかう責任

持続可能な生産消費形態を確保する

SDG12のターゲットから

12.3：小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少する。

12.5：廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

大牟田市では【★まちづくり総合プラン ★学校教育振興プラン】

★第4編『くらし』・・・都市と自然が調和した快適なまちになっています

- ・地球や自然を大切にすまち
- ・資源が循環する環境にやさしいまち

★基本施策Ⅰ『未来を創る児童生徒を育成する特色ある教育の展開』・・・ESDの推進

- ・資源の有効活用の視点からの消費者教育等の推進

大牟田市の学校では



手鑑フードプロジェクト
(手鑑小学校)



消費者教育(エシカル消費)
(平原小学校)



ゴミ減量大作戦
(各小学校)

連携機関：地域まちづくり協議会、地域の各種保存会、環境業務課等

こんなことができる子どもを育てたい！

◆消費生活に関する自己のよりよいライフスタイルについて、自分が
できることを考え行動している子ども

- ・消費者の権利の実現と、消費生活の安定と向上についての知識・理解
- ・持続可能な社会の構築と、消費生活に関する自己のライフスタイルについて関係づける思考力・判断力・表現力
- ・ごみを減らしたり資源化する3Rに主体的に取り組む実践力・行動力



13 気候変動に具体的な対策を

気候変動及びその影響を
軽減するための緊急対策を講じる

SDG13のターゲットから

- 13.1：すべての国々において、気候変動に起因する危険や自然災害に対するレジリエンスおよび適応力を強化する。
- 13.3：気候変動の緩和、適応、影響軽減および早期警告に関する教育、啓発、人的能力および制度機能を改善する。

大牟田市では【★まちづくり総合プラン ★学校教育振興プラン】

★第4編『くらし』・・都市と自然が調和した快適なまちになっています

- ・魅力ある都市空間が形成されたまち
- ・地球や自然を大切にするまち

★基本施策Ⅰ『未来を創る児童生徒を育成する特色ある教育の展開』・・ESDの推進

- ・地球温暖化等に関する環境教育の推進

大牟田市の学校では



大牟田市の環境について
調べよう（天の原小学校）



マーシャル諸島とのアートマイル
協働学習（大正小学校）



みどりのカーテン
（明治小学校）

連携機関：九州地方環境事務所、環境保全課、アートマイル事業等

こんなことができる子どもを育てたい！

◆地球温暖化や大気汚染等の気候変動の課題解決のために、自分ができることを考え行動している子ども

- ・人々の生活と地球温暖化や大気汚染の関連と、気候変動の課題解決のための日常生活の在り方についての知識・理解
- ・持続可能な社会の構築と、気候変動の課題解決のために必要な行動について関係づける思考力・判断力・表現力
- ・気候変動の緩和に向けて、自分たちに必要な行動に主体的に取り組む実践力・行動力



14 海の豊かさを守ろう

持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

SDG14のターゲットから

- 14.1: 海洋堆積物や富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。
- 14.2: 海洋及び沿岸の生態系に関する重大な悪影響を回避するため、強靱性の強化などによる持続的な管理と保護を行い、健全で生産的な海洋を実現するため、海洋及び沿岸の生態系の回復のための取組を行う。

大牟田市では【★まちづくり総合プラン ★学校教育振興プラン】

★第2編『にぎわい』・地域の宝が活かされ、にぎわいのあるまちになっています

・豊かな自然を活かした魅力と競争力のある農業・漁業のまち

★第4編『くらし』・都市と自然が調和した快適なまちになっています

・地球や自然を大切にするまち

★基本施策Ⅰ『未来を創る児童生徒を育成する特色ある教育の展開』・ESDの推進

・人と未来と世界をつなぐ海洋教育の推進

大牟田市の学校では



有明海の干潟観察
(海に親しむ)



三池港クルーズ
(海を知る)



海洋教育こどもサミット in おおむた
(海を守る・海を活用する)



海洋教育（推進校：みなと小学校、天領小学校、駿馬小学校、天の原小学校）

連携機関：東京大学海洋教育センター、有明海を学ぶ会、九州管内の海洋教育推進校等

こんなことができる子どもを育てたい！

◆有明海における人と海との多様な関係について、そのよさを持続していくために、自分ができることを考え行動している子ども

- ・海をよりよく保全し活用する多様な方法と、宝の海「有明海」と世界文化遺産「三池港」についての知識・理解
- ・持続可能な社会の構築と、よりよい海の保全と活用について関係づける思考力・判断力・表現力
- ・海の環境や資源を守る取組において、主体的に活動する実践力・行動力



15 陸の豊かさを守ろう

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

SDG15のターゲットから

- 15.1：森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する。
15.4：持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実にする。

大牟田市では【★まちづくり総合プラン ★学校教育振興プラン】

★第2編『にぎわい』・地域の宝が活かされ、にぎわいのあるまちになっています

・豊かな自然を活かした魅力と競争力のある農業・漁業のまち

★第4編『くらし』・都市と自然が調和した快適なまちになっています

・地球や自然を大切にするまち

★基本施策Ⅰ『未来を創る児童生徒を育成する特色ある教育の展開』・ESDの推進

・自然に親しみ、豊かな自然を守る教育活動の推進

大牟田市の学校では



高取小ホタルプロジェクト
(高取小学校)



ネイチャースクール
(市内小学3年～6年、中学生対象)



みどりの教室
(小学校で実施)

連携機関：ネイチャーガイド、校区まちづくり協議会、都市公園計画課等

こんなことができる子どもを育てたい！

◆大牟田の人と陸の生態系との多様な関係について、そのよさを持続していくために、自分ができることを考え行動している子ども

- ・三池山をはじめとする大牟田の山や川、干拓地等の陸の自然についての知識・理解
- ・持続可能な社会の構築と、自然環境と共存する土地の利用について関係づける思考力・判断力・表現力
- ・陸の自然の生態系を守る取組において、主体的に活動する実践力・行動力



16 平和と公正をすべての人に

持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

SDG16のターゲットから

- 16.1：あらゆる場所において、すべての形態の暴力及び暴力に関連する死亡率を大幅に減少させる。
16.7：あらゆるレベルにおいて、対応的、包摂的、参加型及び代表的な意思決定を確保する。

大牟田市では【★まちづくり総合プラン ★学校教育振興プラン】

★第1編『はぐくみ』・・・未来を拓く人がはぐくまれています

- ・一人ひとりの人権が尊重され、男女が生き生きと暮らすまち

★第5編『あんしん』・・・安心して安全に暮らせています

- ・事故や犯罪のない安心して暮らせるまち

★基本施策Ⅴ『人権に関する教育・啓発の推進』

- ・人権・同和教育の推進

大牟田市の学校では



ペレーとのアートマイル
協働学習（大牟田中央小学校）



人権学習
（各学校）



JICAによる出前授業
（歴木中学校）



児童会・生徒会
リーダーミーティング
（児童会・生徒会の代表）

連携機関：人権擁護委員、JICA、アートマイル事業等

こんなことができる子どもを育てたい！

◆大牟田のまちづくりに主体的に関わり、公平で公正な社会の実現に向けて、自分ができることを考え行動している子ども

- ・平和や正義を重んじ差別や偏見の無い社会を実現するための社会のルールやマナーをしっかり守る意義についての知識・理解
- ・持続可能な社会の構築と、公平で公正な社会の実現について関係づける思考力・判断力・表現力
- ・地域住民の一員として、よりよい社会づくりに向けて主体的に取り組む実践力・行動力



SDGsの広がり

1つのSDGから、課題が発展し、いくつかのSDGをつなげた取組が生まれています。

事例1 海洋教育SDG14から

(みなと小・天領小・駿馬小・天の原小のSDGsの取組)



「有明海、三池港を活用したまちづくりプラン」

「海環境と防災・減災教育」



「宝の海有明海、世界文化遺産三池港を生かした海洋教育」

(海との共生)



「有明海につながる野間川・諏訪川環境調査隊」
「豊かな海を育む森林の役割」



「地球温暖化のメカニズムと海洋・自然環境に与える影響」



「海水浴場のごみ調べ」
～海を守る私たちの暮らし～



事例2 まちづくりSDG11から (大正小学校のSDGsの取組)



「書き損じはがきキャンペーン」
～思いやりを世界へ～



「ペットボトルキャップ回収運動」
(開発途上国への支援)
「みんなが幸せに暮らすバリアフリーの社会」



「フラワータウンプロジェクト」
～花いっぱいのもちづくり～
「世界文化遺産のあるまちおおむた発信プロジェクト」
「命を守る減災プロジェクト」



「ストップ地球温暖化親子宣言」
「世界の友達と力を合わせるアートマイル国際交流」
(マーシャル諸島との交流)



「生き物が集うみんなのビオトープづくり」



事例3 まちづくりSDG11から（吉野小学校のSDGの取組）



事例4 川プロジェクトSDG15から

（明治小・中友小・玉川小・上内小・吉野小のSDGの取組）



学校別SDGsマトリックス（その1）

SDGs 学校	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を達成しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も
みなと小学校	世界の人々とともに生きる	未来を支える食料生産	ともに生きる暮らしと政治	ユネスコスクールの日に 関連したESDの学習発表・展示等	男女 仲 良 く・ 男 女 の 理 解 と 協 力・ 個 性 の 尊 重 人 権 学 習	水はどこから	私たちの生活と電気	私たちの未来
天領小学校	地球環境の保護と国際協力	給食週間の取組	天領・オリパラ			水はどこから	クリーンアップ作戦	我が国の産業
駿馬小学校	地球環境の保護と国際協力	給食週間の取組	一人暮らし高齢者宅訪問			水はどこから	くらしとゴミ	我が国の産業
天の原小学校	地球環境の保護と国際協力	野菜作りをしよう	高齢者との交流			水はどこから	クリーン作戦	我が国の産業
玉川小学校	地球環境の保護と国際協力	米作りに挑戦	福祉もちつき			水はどこから	クリーンアップ作戦	我が国の産業
大牟田中央小学校	地球環境の保護と国際協力	米と私たちの生活	ユニバーサル社会			水はどこから	クリーンアップ作戦	未来をつくり出す工業生産
大正小学校	書き損じはがきキャンペーン	1サイクル運動	バリアフリーの社会			水はどこから	太陽のエネルギー	我が国の産業
中友小学校	地球環境の保護と国際協力	給食週間の取組	子ども民生委員活動			水はどこから	合同クリーンアップ作戦	我が国の産業
明治小学校	ユニセフ募金	給食週間の取組	みんなにやさしい町づくり			水はどこから	めざせエネルギー博士	未来への扉
白川小学校	地球環境の保護と国際協力	ペットボトルキャップ回収	ジュニア民生委員活動			水はどこから	ゴミ減量大作戦	我が国の産業
平原小学校	地球環境の保護と国際協力	給食週間の取組	つながり合う心Ⅱ			健康なくらしとまちづくり	わたしたちの生活と電気	レッツゴーまちづくり競技
高取小学校	地球環境の保護と国際協力	給食週間の取組	心のキャッチボール			水はどこから	高取クリーンアップ作戦	我が国の産業
三池小学校	地球環境の保護と国際協力	野菜大好き、大感謝祭	りんどう学園との交流			水はどこから	ゴミダイエツ作戦	我が国の産業
羽山台小学校	地球環境の保護と国際協力	給食週間の取組	福祉施設訪問			水はどこから	校区クリーンアップ	我が国の産業
銀水小学校	地球環境の保護と国際協力	給食週間の取組	心をつなごう銀水子			ふれあおう自然	取り組もうゴミ減量生活	我が国の産業
上内小学校	地球環境の保護と国際協力	米作り体験	共に生きる			水はどこから	クリーン作戦	将来の自分を見つめて
吉野小学校	地球環境の保護と国際協力	給食週間の取組	人にやさしい吉野の町			水はどこから	守ろう環境探検隊	我が国の産業
倉永小学校	地球環境の保護と国際協力	給食週間の取組	私たちにできること			水はどこから	ゴミ減量大作戦	働く人と私達の暮らし
手鑑小学校	地球環境の保護と国際協力	米作り体験	認知症模擬訓練			水はどこから	リサイクルごみゼロ作戦	我が国の産業
宅峰中学校	世界の諸地域の生活	食育出前講座	福祉体験学習			健康と環境	クリーンアップ作戦	職 場 体 験 学 習
宮原中学校	星のテラプロジェクト	これからの経済と社会	高齢者宅訪問			生活の中の水	クリーン作戦	
松原中学校	書き損じはがきキャンペーン	残食〇運動	福祉体験学習			健康と環境	合同クリーンアップ作戦	
白光中学校	世界の諸地域の生活	食育出前講座	認知症に係わる町づくり			健康と環境	親子クリーンアップ	
歴木中学校	世界の諸地域の生活	これからの経済と社会	福祉体験学習			健康と環境	クリーンアップ作戦	
田隈中学校	世界の諸地域の生活	これからの経済と社会	車いす体験学習			健康と環境	クリーン作戦	
橋中学校	リサイクル活動	給食の余りを減らす取組	福祉施設訪問			リサイクル活動	クリーンアップ運動	
甘木中学校	世界の諸地域の生活	これからの経済と社会	福祉体験学習			健康と環境	クリーン作戦	
大牟田特別支援学校	買い物学習	体と栄養	なかよし交流			トイレをきれいに使おう	ゴミの出し方を知ろう	

取組別SDGsマトリックス（大牟田市教育委員会としての施策：その1）

SDGs 事業等	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を達成しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も
ESD推進本部	○	○	○	○	○	○	○	○
RCE大牟田	○	○	○	○	○	○	○	○
ユネスコスクールの日	○	○	○	○	○	○	○	○
子どもサミット	○	○	○	○	○	○	○	
教育委員会サミット			○	○	○		○	
子ども大牟田検定			○	○			○	
世界遺産学習の推進				○				
海洋教育の推進				○			○	○
SDGs/ESD研修会	○	○	○	○	○	○	○	○
※エネルギー環境		○		○		○	○	○
※福祉・健康	○	○	○	○		○		

※は、「未来を創るESD推進事業」の中の個別の取組です。

学校別SDGsマトリックス（その2）

9	10	11	12	13	14	15	16	17	
産業と資源循環の 廃棄物をつくる	人や国の平等 をくちく	住み続けられる まちづくりを	つくる責任 つかう責任	気候変動に 適応する	海の豊かさ を増やす	陸の豊かさ を増やす	平和と公正を すべての人に	パートナーシップで 目標を達成しよう	
未来をつくり出す工業生産	世界の人々とともに生きる	有明海の豊かさを守ろう	ごみ・水ダイエット作戦	水害から身を守ろう	有明海とともに生きる	有明海とともに生きる	平和で豊かな暮らし		他校・地域・関係機関等との連携・協働によるESDの推進
未来をつくり出す工業生産	世界の人々とともに生きる	世界遺産学習	暮らしとごみのしまつ	森林の役割	有明海・三池港の未来	季節と生き物	平和で豊かな暮らし		
世界の中の日本	世界の人々とともに生きる	駿馬の魅力発信	エコクッキング	国土の自然とともに生きる	クリーンアップ諏訪川	季節と生き物	平和で豊かな暮らし		
未来をつくり出す工業生産	世界の人々とともに生きる	世界遺産学習	リサイクルの仕組み	世界と大牟田の環境	野間川水質調査隊	学校に飛んでくる鳥	平和で豊かな暮らし		
未来をつくり出す工業生産	世界の人々とともに生きる	米はかり園を受け継ぐ	暮らしとごみのしまつ	森林の役割	鳴川探検	野菜を育てよう	平和で豊かな暮らし		
見つめよう石炭の町大牟田	ともに生きる暮らしと政治	身の守り方を考えよう	健康な暮らしとまちづくり	国土の自然とともに生きる	生物と地球環境	延命公園ウォッチング	考えよう私たちの未来		
1 サイクル運動	世界の人々とともに生きる	フラワータウンプロジェクト	1 サイクル運動	STOP! 地球温暖化	世界遺産・三池港	みんなのビオトープ	まちの平和について		
未来をつくり出す工業生産	世界の人々とともに生きる	中友キッズまんじゅう	暮らしとごみのしまつ	森林の役割	環境探検隊	季節と生き物	長崎から学ぶ平和		
エネルギーのまち大牟田	税について考えよう	明治すてき見つけ隊	暮らしの中のエネルギー	緑のカーテン	環境探検隊	めざせ植物博士	平和な社会をめざして		
未来をつくり出す工業生産	世界の人々とともに生きる	防災・減災教育	ゴミ減量大作戦	緑のカーテン	堂面川水質調査隊	調べよう守ろう白川の麓	平和の大切さ		
未来をつくり出す工業生産	世界の中の日本	地域の安全マップをつくろう	つうこう遊ぼうふしう	生物と地球環境	水産業のさかんな地域	季節と生き物	大口市との学校間交流		
未来をつくり出す工業生産	世界の人々とともに生きる	未来へつなげ郷土の宝	くらしとゴミのしまつ	森林の役割	長瀬川を調べよう	鳥取マルプロジェクト	平和で豊かな暮らし		
未来をつくり出す工業生産	世界の人々とともに生きる	三池の歴史遺産	ゴミダイエット作戦	森林の役割	三池校区の環境	校区の生き物調べ	長崎から学ぶ平和		
未来をつくり出す工業生産	世界の人々とともに生きる	守れ! 21世紀の大牟田	地球環境を守ろう	羽山台環境プロジェクト	環境をともに守る	季節と生き物	平和そして異文化理解		
未来をつくり出す工業生産	世界の人々とともに生きる	ぎんぎの絆プロジェクト	取り組みようゴミ減量生活	森林の役割	ふれあおう鶴水の自然	季節と生き物	平和で豊かな暮らし		
未来をつくり出す工業生産	世界の中の日本	上内よかとこ見つけ隊	リサイクル大作戦	国土の自然とともに生きる	周川の生き物を調べよう	まぐりつなごう気仙沼	平和の街長崎を調べよう		
よりよい学校にするために	共に生きる地球	吉野のハーブプロジェクト	わたしたちのエコライフ	豊川・白川川の環境を守ろう	生き生きビオトープ大作戦	吉野小樹プロジェクト	平和の街長崎を調べよう		
未来をつくり出す工業生産	世界の人々とともに生きる	倉永ふるさと再発見	ゴミ減量大作戦	災害に強いまちづくり	水産業のさかんな地域	自然に学ぶ・人に学ぶ	歴史をよみ未来を見つめよう		
未来をつくり出す工業生産	世界の人々とともに生きる	千拓とがたいぬ語り	手織フードプロジェクト	森林の役割	のりづくりに挑戦	黒崎串だごづくり	平和の街長崎を調べよう		
これからの経済と社会	地域清掃活動	保育実習	リサイクル活動	世界の気象の変化	世界の諸地域の自然	植物の生活と種類	人権・平和学習		
これからの経済と社会	共生社会	写真展・世界遺産宮原展	服のチカラプロジェクト	緑のカーテン	世界の諸地域の自然	植物の生活と種類	人権・平和学習		
これからの経済と社会	国際交流講演会	地域文化探求活動	リサイクル活動	世界の気象の変化	世界の諸地域の自然	植物の生活と種類	人権・平和学習		
これからの経済と社会	共生社会	世界遺産学習	リサイクル活動	世界の気象の変化	世界の諸地域の自然	植物の生活と種類	人権・平和学習		
これからの経済と社会	共生社会	世界遺産学習	リサイクル活動	いざという時の防災・減災	世界の諸地域の自然	植物の生活と種類	人権・平和学習		
これからの経済と社会	共生社会	世界遺産学習	リサイクル活動	世界の気象の変化	世界の諸地域の自然	フラワープロジェクト	人権・平和学習		
これからの経済と社会	福祉体験学習	防災・減災学習	リサイクル活動	自然体験学習	世界の諸地域の自然	植物の生活と種類	ボランティアパスポート		
これからの経済と社会	共生社会	世界遺産学習	リサイクル活動	世界の気象の変化	世界の諸地域の自然	植物の生活と種類	人権・平和学習		
ゆめタウン販売に向けて	共生社会	世界遺産学習	調理実習	暑さ・寒さに負けぬ生活	洗濯の仕方	木工作業	ふれあい共室		

取組別SDGsマトリックス（大牟田市教育委員会としての施策：その2）

9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 適応的を対策を	14 海の豊かさ を守ろう	15 陸の豊かさも 守ろう	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○
		○	○	○	○	○	○	○
○	○	○		○	○	○	○	○
	○	○			○	○	○	○
○		○	○	○	○	○		○
○	○	○	○	○	○	○	○	○
○		○	○	○	○	○		○
○		○						○



大牟田市公式
キャラクター
「ジャー坊」



大牟田市教育委員会

2017年 12月作成
2020年 11月改訂

【問い合わせ先】

大牟田市教育委員会

所在地 福岡県大牟田市有明町2-3

電 話 : 0944-41-2861 F A X : 0944-41-2862

U R L : <https://www.city.omuta.lg.jp/kyouiku/>